



2015年度定期総会報告

2015年度の定期総会を3月15日(日)の10時半から12時まで、ボランティア活動支援センターで開催いたしました。

総会では、植松理事長が議長に選出され、2014年度活動報告及び活動決算報告並びに監査報告が承認された後、2015年度活動方針及び事業・活動計画書並びに活動予算書の審議に入り、議案書(案)提案どおり認められました。

次に役員(理事・監事)の交代、新任の承認が求められ、新しい役員の下で2015年度の活動を開始することになりました。2015年度の活動方針、活動予算書並びに新役員は次の通りです。

1) 2015年度活動方針

- イ) 財政基盤の確立と組織の拡充 ロ) コーチの指導技術の向上と量的拡大
- ハ) 広報・啓蒙活動の強化

2) 2015年度活動予算書

- イ) 経常収益: 245万円 ロ) 経常費用: 270万円 (内、25万円は大会費用積立金)

3) 役員承認

理事長 植松俊徳 (元十八銀行専務取締役)

副理事長 村木昭一郎 (野母商船代表取締役社長)、
横田貞三 (長崎国際ゴルフ倶楽部理事長)
森邦芳 (元長崎県住宅供給公社理事長)

理事 柴田浩一 (十八銀行執行役員人事部長)、楠田譲 (楠田歯科診療所理事長)
高谷信 (長崎県体育協会理事長)、金子和子、井手博文 (元十八銀行公務部長)
山田箠子 (㈱ヤマックス会長)、竹内一 (社会福祉法人ゆうわ会理事長)
松尾忠信 (SON・長崎事務局長)、宮崎隆夫 (同事務局次長)、
池田好隆 (同事務局次長)、北御門剛 (同会計責任者) (以上 留任)
藤泉 (長崎自動車常勤監査役)、桑野嘉典 (長崎市心身障害者団体連合会会長)
犬塚博二 (ポニーランド長崎理事長)、福田 英彦 (福田内科胃腸科院長) (以上新任)

監事 中島健太郎 (JAIFA長崎県協会副会長) (留任)

松永安市 (長崎商工会議所専務理事) (新任)



SOのビジョンづくりが始まりました！

スペシャルオリンピックス日本では、各地区の現状を確認し、SO活動をそれぞれの地域で根付かせる取り組みの事例を紹介しながら、次期ビジョンの作成を目指しています。



ビジョン体系は全国の組織が共有する目標を設定する必要がありますが、同時に また、各地区の事業計画とリンクしていなければなりません。さしずめ、分りやすい目標としてアスリート数とコーチ数を各地区組織が持ちながら、その実現を目指して活動することでしょう。

各地区組織が共に活動を発展させるためには、まずは各地区の現状と抱えている問題を確認しておく必要があります。

例えば「アスリートが伸び悩む理由」との観点から自己診断を試みることも大切です。

自己診断との言葉は、何だか難しいように響きますが、言い換えれば、知的障害のある人や家族に活動が認知されているか、継続的に参加できるところでプログラムをやっているか、参加したいプログラムを提供しているか、楽しさを伝えられているか等などの点からもう一度私達の活動を掘みなおしてみることだと言えるでしょう。

SO日本では現在アスリートは7,400人前後、コーチは4,500人前後で停滞しているのが現状です。

地区組織で見ると、過去5年間で8地区が10%以上アスリートを増やした一方、ほぼ横ばいが10地区、4地区が10%以上減少させています。

残念ながら、長崎は10%までには至りませんが、アスリート数は減少しています。

療育手帳保有者1,000人のうち、SO参加者は全国平均で10人、長崎では約14人で決して高い数字とは言えません。療育手帳保有者の60%が軽度で、スポーツ参加の可能性が高いと言われています。

条件さえ整えば、長崎でもまだアスリートが増える可能性を秘めています。

この他の問題として、運営体制、事務局体制、或いは資金調達など解決すべき問題が山積みしています。

これらの問題を全国的に共有しながら、いまSO日本としてビジョンづくりに取り組んでいます。



みんな上手になりました！

長崎地区のバドミントンプログラムを紹介します。

現在アスリート 10名（男性9名 女性1名） コーチ 2名とボランティア 2名の助けを借りて月 2回、日曜日の 10:00～12:00 ハートセンターの体育館で練習しています。この他に数名の学生ボランティアが手伝いに来てくれています。

練習は、試合のできるアスリートと、試合するまでにはちょっと難しいアスリートとに分かれて練習しています。



2月15日（日）には、学生ボランティアの卒業に伴い、これまでの感謝の気持ちを込めてお別れ会を行い、思い出の寄せ書きや、記念写真を撮ったりしました。

学生さんたちのプログラムに参加しての感想が寄せられましたのでその一部を紹介します。

★ボランティアをすること自体に興味があつて、参加しました。普段なかなか接することのない障害のある人たちとお話をしたり一緒にバドミントンを通して私自身が持っていた価値観が変わり、参加してよかったと思いました。

今後の活動として、長崎地区だけに閉じこもるのではなく、佐世保地区との連携を深めて行くことも考えています。

まだまだたくさんの方に参加してほしいと思っています！
特に女子の参加を待ってま～す。



ハイ、みんな楽しんでます！

水泳プログラム（長崎地区）市民プールを紹介します。

私達は、月2回（土曜日13時～15時）、長崎市民総合プールで練習しています。

アスリートは24名（男16、女8）ですが、大半が社会人であるため、仕事の都合で練習に参加できない日ができたりして、練習時間をもう少し遅くできないだろうかとの意見も出ています。



コーチはファミリーコーチも含めると5名で、25mコースを使って2つのメニューで練習しています。

一つは1対1の個別指導、もう一つはアスリートの能力に応じたメニューで2コース使って練習をしています。

日頃の練習もさることながら、3月7日には、コーチ、アスリート、ファミリー合わせて42名が集まってのサンキューパーティーを行い、大いに盛り上がりました。午後からの、ハートセンタープールでの練習では、みんな日頃にはないパワーを出していたようです。



今年の水泳地区大会は6月21日(日)に計画されています。アスリートとファミリーにとって一番身近な大会として、心待ちにしています。多くの方々にお手伝いをお願いしながらの大会になりますがよろしく願いいたします。

9月22, 23日に鹿児島で九州ブロック水泳大会が計画されているようです。

みなさん、他の地区のアスリートとも日頃の練習の成果を競い合ってみませんか？



スペシャルオリンピックスはこんな組織です(その3)

SON・長崎では人口10万人あたりのアスリートの数は13人で、日本では山形20人、熊本19人、新潟16人について4番目ですが、これを療育手帳取得者の組織率で見ると、新潟県が33人と最も多く、続いて熊本32人、山形29人、京都21人と続き、長崎は14番目です。

県内での療育手帳取得者は約12,500人(注1)で、長崎県の人口140万人(注2)に対して人口比では0.88%となります。

プログラムを実施している市の療育手帳取得者は、長崎市、佐世保市では人口の0.79%、諫早市で0.86%となっております。

プログラムを実施していない市・町では長与町、時津町が一番少なく約0.64%ですが、長崎県13市8町のうち、1%を超えている市町は5市4町あり、これらの所ではプログラムをやっていません。

長崎市、佐世保市、諫早市での組織率はそれぞれ他県に比べて遜色はないのですが、やはり、21市町のうち、僅か3市でしかプログラムを実施していないことが、長崎県での組織率を低くしています。

私達の今後の課題としては、未組織市町へどれだけプログラムを広げていくか、真剣に考える時期にきているように思います。

そのために、欠かせないのがコーチづくりです。特に若いコーチが必要です。

アスリートにとっては、若いコーチほど親しみやすく、プログラムも生き生きしてきます。

長崎での認定コーチは94名ですが、平均年齢では55歳を越えているのではないのでしょうか。

コーチの数もさることながら、如何にコーチの平均年齢を若がえらせるか、真剣に考えなければならない問題だと思っています。

(注1) 長崎県障害福祉課資料使用 平成23年3月31日現在

(注2) 人口数は2010年国勢調査 長崎県HPを引用



事務局便り

1 SO 日本より認証状が授与されました。



SON長崎が活動が続けるには毎年、活動を続けるに値するかどうかの条件をクリアしてSON本部から承認を受ける必要があります。そのためには、総会を開き、1年間の活動状況を報告しなければなりません。本部ではこれらを確認した上で、写真のような認証状を付与し、これにより私達は活動を続けています。

2 SO 説明会を予定しています。

過去には新規入会者に対して、SO 及びその活動について理解してもらうために、説明を行っていました。近頃は、種々の事情で実施されていませんが、ファミリーのSO 活動への係わり方にかかなりの温度差が生じているため、3月のプログラム運営委員会で、初心に戻ってSO について説明する必要があるとの問題が提起されました。従って、全ファミリーを対象に順次説明会の実施を予定しています。

3 5月からテニスプログラムをハートセンター隣のテニスコートで始めます。

*練習日時：毎月奇数土曜日 13時～15時 (5月は2日、16日)

*内 容： 硬式テニス。アスリート&ファミリー(兄弟姉妹も可)も対象
希望者は090-1342-3339 松尾までご連絡ください。

4 2015年第4回 SON九州・沖縄ブロック大会

*開会式&交流会：9月22日(火、祝日)

競技&閉会式：23日(水、祝日)

開催場所：鹿児島市

競技種目：水泳(15m歩行、25m ビート板付自由型、25m 自由、背、平、バタ、50m 自由、背、平)

バドミントン(個人技能、シングル、ダブルス)

費用：参加費1,000円(交通費の半額をSON・長崎で負担予定)

参加を希望する方は各プログラムのヘッドコーチ経由で事務局までお知らせ下さい。

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・長崎

理事長 植松 俊徳

〒850-0027 長崎市桶屋町56 電話/ファックス (095) 823-3575

メール son_nagasaki@son.or.jp ホームページ <http://www.son-nagasaki.jp/>

プログラム実施競技一覧

(2015年1月現在)

プログラム	地区	実施場所	実施日時	
水 泳	長 崎	長崎市民総合プール (ハートセンター)	月2回、土曜	13:00~15:00
		長崎東公園 コミュニティプール	月2回、土曜	17:00~19:00
		市営木鉢プール	毎週木曜	17:30~19:00
		なめしスイミングセンター	月2~3回	16:20~17:20
	佐世保	佐世保市温水プール	月2回、日曜	12:30~14:30
陸 上	長 崎	柿泊陸上競技場	第2, 4日曜	10:00~12:00
	佐世保	佐世保陸上競技場	隔週日曜日	09:00~11:00
	諫 早	諫早陸上競技場	隔週日曜日	10:00~12:00
バドミントン	長崎	ハートセンター	月2回、日曜	10:00~12:00
	佐世保	サン・アビリティ (佐世保)	隔週日曜	09:00~11:00
ボウリング	長 崎	ラッキーボウル(夜)	毎週火曜	19:00~21:00
		ラッキーボウル(昼)		15:00~17:00
	佐世保	ラッキーボウル	偶数日曜	16:00~18:00
テニス	長 崎	中尾テニスコート	偶数土曜	14:00~16:00
サッカー	佐世保	祇園小グラウンド	月2回、日曜	10:00~12:00
馬 術	長 崎	長崎ゆうゆう牧場	第1, 3日曜	14:00~15:30

協力企業・団体・個人紹介

法人賛助会員（順不同・敬称略）

1	アイティーアイ	2	安達株	3	(有)和泉屋
4	扇精光ホールディングス株	5	オフィスメーション株	6	株カステラ本家 福砂屋
7	協和機電工業株	8	株クリーン・マット	9	(医)清潮会 三和中央病院
10	(有)サンワード・エヌ	11	株十八銀行	12	株十八カード
13	タカラ長運株	14	株チューケン	15	株テレビ長崎
16	(一般社団法人)長崎国際	17	長崎産業株	18	長崎自動車株
19	長崎純心大学	20	長崎商工会議所	21	株長崎新聞社
22	長崎船舶装備株	23	長崎総合警備株	24	長崎電気軌道株
25	長崎トヨペット株	26	長崎文化放送株	27	長崎放送株
28	長崎ラッキーボウル	29	野母商船株	30	平坂製菓株
31	株文明堂総本店	32	株メモリード	33	株エムエスケイ(松藤商事)
34	株ヤマックス	35	株九州ホテルリゾート 長崎ホテル清風		
36	(公財)K T Nスポーツ振興財団	37	富士ゼロックス長崎株 端数クラブ		

助成金（順不同・敬称略）

1	長崎県障害者スポーツ協会	2	(公財)松園尚己記念財団
3	長崎市スポーツ振興課	4	(公社)J A I F A長崎県協会
5	佐世保市役所	6	雲仙市役所
7	時津町役場	8	社会福祉法人 ゆうわ会
9	(公財)業務スーパージャパンドリーム財団	10	九州ろうきん
11	県民ボランティア振興基金		

寄付（順不同・敬称略）

1	長崎北東ロータリークラブ	2	長崎南ロータリークラブ
3	野母商船株（自販機売上げ）	4	(有)サンワード・エヌ（自販機売上げ）
5	アダチ産業株（自販機売上げ）	6	島手そうめん販売株
7	白川尚子（なめし読書会）	8	J A I F A長崎県協会
9	マックスバリュ（黄色いレシート）		

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・長崎

理事長 植松 俊徳

〒850-0027 長崎市桶屋町56

電話/FAX (095) 823-3575

メール son_nagasaki@son.or.jp

ホームページ <http://www.son-nagasaki.jp/>